

令和7年 月 日

品川区議会議長

渡辺 ゆういち 様

行財政改革特別委員会

委員長 若 林 ひろき

行財政改革特別委員会の活動現況について

今期の行財政改革特別委員会では、「新庁舎等に関すること」、「行政のデジタル化に関すること」、「財源・事業の評価に関すること」および「人材育成に関すること」の4件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

○ 新庁舎等に関すること

「新庁舎等に関すること」では「新庁舎」、「現庁舎跡地等」および「公有地」の3つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

「新庁舎」では、新庁舎整備に向けた検討状況の時宜に合わせ議題とし、基本設計の概要、区民向け説明（オープンハウス方式）の開催結果、都市計画手続き、実施設計の概要など理事者より説明を受けながら、7月、8月、11月、2月の計4回にわたって議論を重ね、新庁舎に備えるべき機能・性能やアクセシビリティ等について様々な提案を行いました。

「現庁舎跡地等」では、品川区庁舎跡地等活用検討委員会における検討結果をとりまとめた「品川区庁舎跡地等の活用に関する検討報告書（案）」について理事者より説明を受け、検討委員会により把握した区民ニーズや意見等を基に、活用のテーマや導入機能などに関する議論を行いました。

8月には「新庁舎」および「現庁舎跡地等」の調査のため、豊島区役所新庁舎および旧庁舎跡地「Hareza 池袋」の視察を実施しました。

「公有地」では、11月と2月の計2回にわたって、旧荏原第四中学校整備計画の策定に向けた取組を中心に議論を行いました。

11月には、「旧荏原第四中学校整備基本計画（素案）」が理事者より示され、導入機能、施設ゾーニングプラン、整備・運用手法などについて様々な提案を行い、2月には、パブリックコメントおよび第5回旧荏原第四中学校整備基本計画検討会の実施結果、素案からの変更点など説明を受け、施設のコンセプトやユニバーサルデザインなどに関する議論を行いました。

○ 行政のデジタル化に関すること

「行政のデジタル化に関すること」では、11月と1月の計2回にわたって、区のDXの取組等を中心に議論を行いました。

11月には、令和6年度における「しながわDX」の取り組みとして、「区民向けサービスのデジタル化」、「行政のデジタル化」および「地域のデジタル化」における重点取組事項などについて紹介を受け、「区民」、「地域」、「行政」のそれぞれの視点に基づく提案を行いました。1月には、品川区DX推進基本方針の改訂およびシステム標準化の進捗状況について説明を受け、危機管理等に関する質疑を行いました。

○ 財源・事業の評価に関すること

「財源・事業の評価に関すること」では「事務事業評価」、「ふるさと納税」および「ファンド」の3つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

「事務事業評価」では、「政策評価」を加えた「行政評価」の取組を議題とし、9月と2月の計2回にわたって議論を行いました。

9月には、「事務事業評価」および「政策評価」のそれぞれの基本的な考え方や実施状況、評価対象事業・分野などについて説明を受け、政策評価委員会の運営や経過等に関する質疑を行いました。2月には、令和6年度行政評価の結果を議題とし、事務事業評価における部局別評価結果、および政策評価委員会から区に対する提言や区としての改善の方向性について報告を受け、事務事業評価に基づく事業のスクラップ・アンド・ビルドの考え方など意見が交わされました。

「ふるさと納税」では、ふるさと納税寄付額（流入額）・区税の減収分（流出額）の推移およびクラウドファンディング型ふるさと納税事業などについて説明を受け、品川区の特色を活かした事業の拡充に向けた議論を行いました。

「ファンド」では、ウェルビーイング・SDGs推進ファンド事業を議題とし、事業の進捗の時宜に合わせて報告を受けながら、議論を行いました。提案事業の募集から審査、交付対象事業者の選定までの経過について説明を受け、事業が広く周知され、多くの事業提案や民間出資が受けられるよう議論を深めてまいりました。

○ 人材育成に関すること

「人材育成に関すること」では、「職員の研修」および「職員提案制度」の2つのテーマについて、調査・研究を行いました。

令和6年4月に策定した「品川区人材育成・確保基本方針」に基づく新たな人材育成・確保の目標である「MVV (Mission Vision Value)」とその要素を向上させる研修、「職員提案制度」における昨年度の実績や今年度の事業の進捗状況などについて説明を受け、職員に求められるスキルや能力、モチベーションの維持・向上などに関する提案を行いました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区の行財政改革の推進に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。

令和7年 月 日

品川区議会議長

渡辺 ゆういち 様

災害・環境対策特別委員会

委員長 大 倉 たかひろ

災害・環境対策特別委員会の活動現況について

今期の災害・環境対策特別委員会では、「防災に関すること」および「環境に関すること」の2件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

「防災に関すること」では、「避難所全般（運営、生活TKB、女性への支援、相談窓口、ペット等）」、「防災訓練」、「在宅避難（備蓄、マンション、相談窓口等）」および「罹災証明」の4つのテーマに分けて、7月、8月、9月、1月の計4回にわたって調査・研究を行いました。

「避難所全般（運営、生活TKB、女性への支援、相談窓口、ペット等）」では、地震・風水害時に対する避難の考え方、避難所の名称・対象の災害、開設・運営、区民避難所・福祉避難所の環境改善、避難行動要支援者支援、相談体制、支援物資輸送などについて理事者より説明を受け、避難所運営体制および避難行動要支援者における個別避難計画、職員の図上訓練の強化などについての議論がありました。

「防災訓練」では、訓練の必要性、地域との連携、年間スケジュール、地区総合防災訓練や区内一斉防災訓練の内容などについて理事者より説明を受け、新規プログラムの検討、NPOとの連携強化、訓練の周知・啓発などについて議論がありました。

「在宅避難（備蓄、マンション、相談窓口等）」では、在宅避難の推進、平素からの取組内容、在宅避難者の把握、支援物資の配布、情報発信・収集などについて理事者より説明を受け、非常用・太陽光発電の活用、多言語対応ポータルサイトへの検討などについて議論がありました。

「罹災証明」では、区で発行する証明書の種類、発行の流れ、被災者支援の制度、区における発行体制、相談体制などについて理事者より説明を受け、被害認定調査の

体制、発行手続の窓口開設、防災訓練を活用した周知・啓発などについて議論がありました。

「環境に関すること」では、「食品ロス削減、マイボトル推進」「製品プラスチック回収、粗大ごみ、プラスチック」「脱炭素・ZEB」の3つのテーマに分けて、7月、11月、2月の計4回にわたって議論を重ねてまいりました。

また、11月には、製品プラスチック回収などに関連し、「品川清掃工場」および、「品川区資源化センター」の視察を行いました。

「食品ロス削減、マイボトル促進」では、フードロス削減に向けた各種削減啓発、マイボトル普及の促進に向けた、区有施設の給水機設置や事業者向け設置助成などについて理事者より説明を受け、フードドライブ窓口の視認性向上、給水器設置拡大の検討状況、ドギーバッグのデザイン検討などについて議論がありました。

「製品プラスチック回収、粗大ごみ、プラスチック」では、資源プラスチックの回収状況、普及・啓発、粗大ごみの各種リユース・リサイクルへの取組などについて理事者より説明を受け、学校における環境学習の充実や充電式電池回収などについて議論がありました。

最後に「脱炭素・ZEB」においては、品川区における二酸化炭素排出量、環境関連助成等への取組、ZEBの普及拡大などについて理事者より説明を受け、ペットボトル本数削減に伴うマイボトル用給水機の効果、新築時ZEH化助成、EV充電設備の今後の活用検討などについて議論がありました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区の行財政改革の推進に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。